

荒島の郷を さらに活性化!!

グループ名 Let's 荒島



(発言内容)
私たちが住んでいる大野市は、美しい自然やおいしい水、歴史的な街並みに囲まれた素晴らしいまちです。

大野の課題

- 遊ぶ場所が少ない
- 観光客が少ない

(発言内容)

そんな大野市の今ある課題は、「地域の若者や家族連れが遊べる場所が少ない」「市外や県外からの観光客が少ない」というところです。

魅力的な施設を作る



大野の活性化を図る！

(発言内容)

その課題を解決するために、私たちは地域の若者や家族連れが楽しめ、より観光客を呼び込めるような魅力的な施設を作ることで、大野市の活性化を図ろうと考えました。

荒島の郷



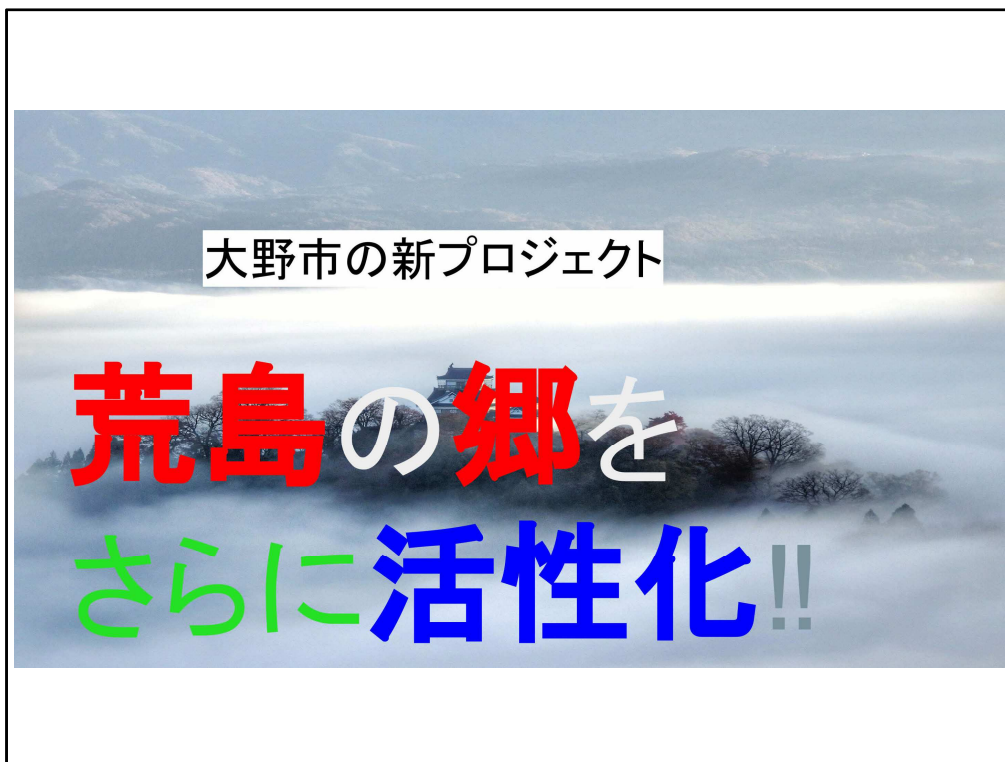
(発言内容)

そこで、私たちが目を付けたのは、大野市に新しくできた道の駅である「越前おおの 荒島の郷」です。荒島の郷は私たちがターゲットにしている、観光客や地域の若者、家族連れのどちらもアクセスがしやすく、新しくできた施設なので話題性があると思い、ここに決めました。



(発言内容)

荒島の郷は、2021年の4月に開業し、建設費用21億3,500万円、面積49,137m²、これは東京ドームよりさらに一回り大きく、道の駅では珍しいRVパークやモンベルなどを備えた、アウトドア向けの道の駅です。



(発言内容)

私たちは、この荒島の郷から大野市の新プロジェクト、「荒島の郷をさらに活性化」を考えました。

現状を知るための調査

1. 年齢
2. 誰と来たか
3. どこから来たか
4. 来た理由



(発言内容)

まず、荒島の郷の現状を知るため、「年齢」「誰と来たか」「どこから来たか」「来た理由」などについて、夏休み期間中、荒島の郷を訪れた人に対してアンケートを行いました。



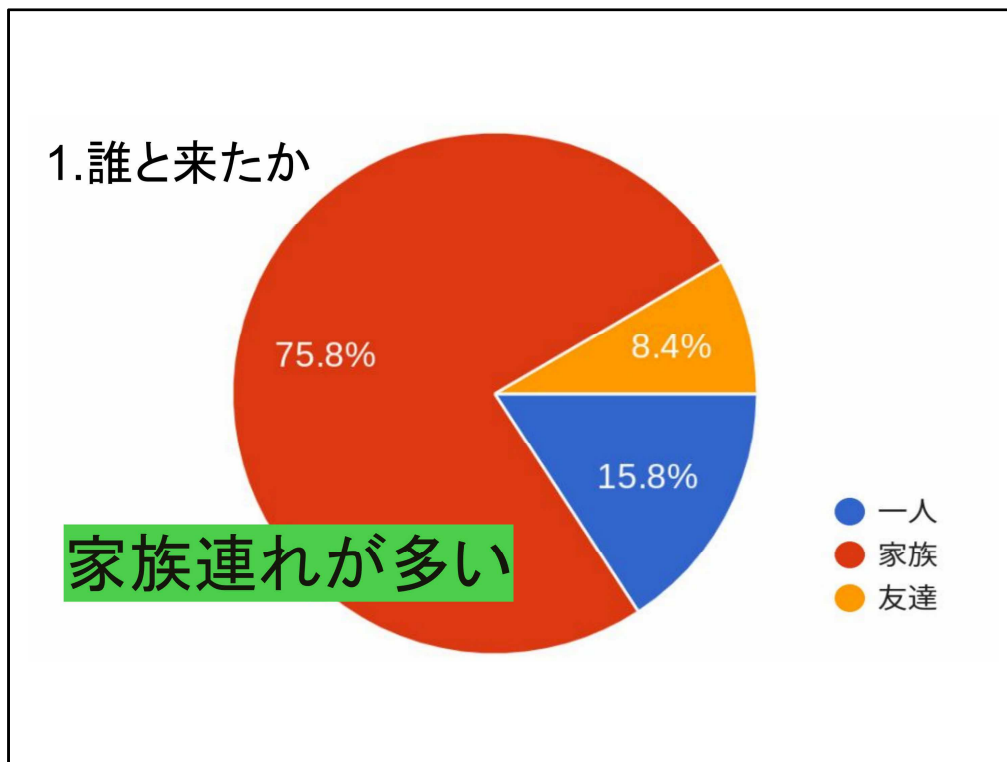
荒島の郷で
夏休み期間中に
行ったアンケート

QRコードを使ったことで…

- ・回答の時間短縮
- ・回答数の増加

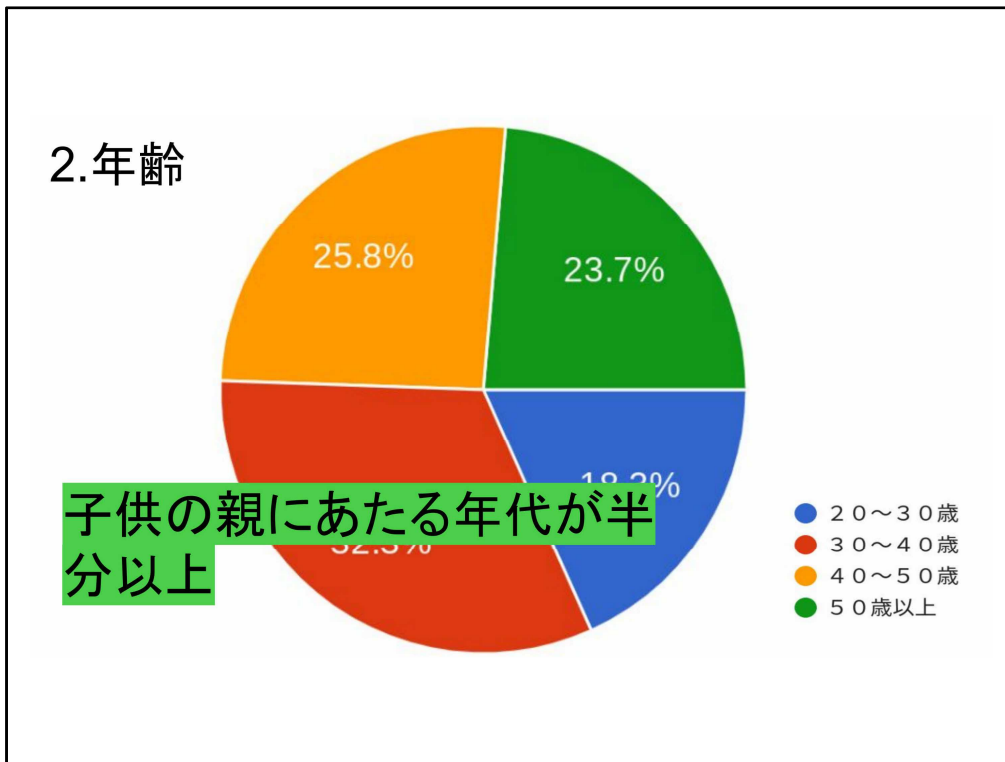
(発言内容)

アンケートはQRコードを使ったことで、答えてもらう時間を待つことなく、持ち帰って回答してもらうことができ、回答の時間削減と合わせて回答数を増加させることができました。

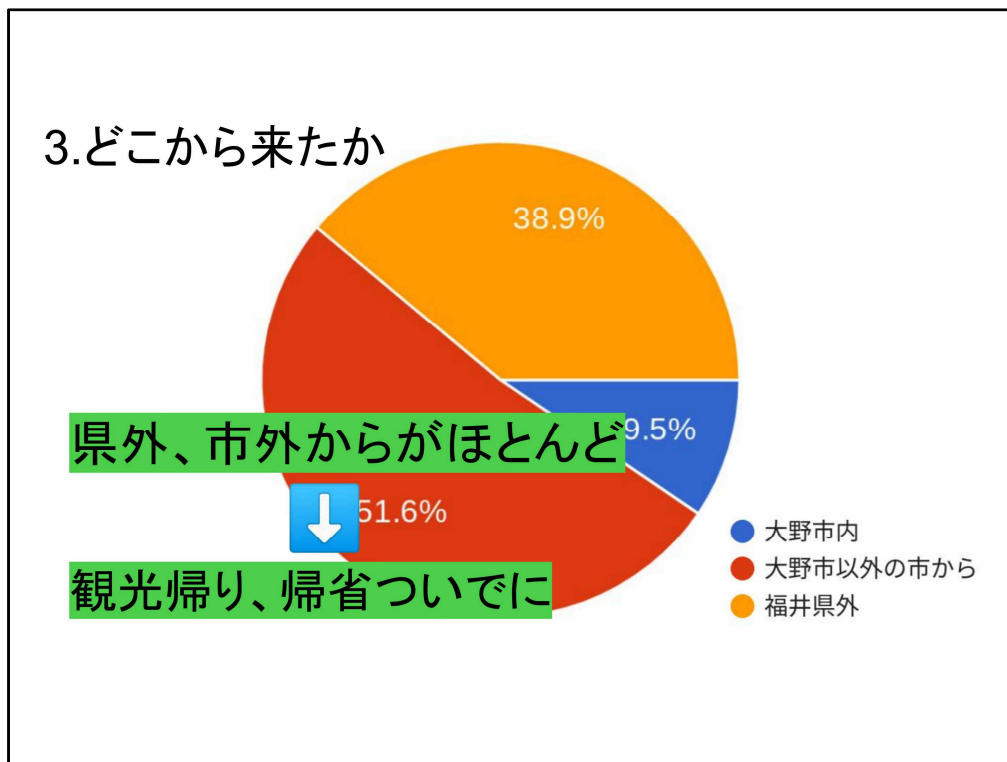


(発言内容)

アンケートの結果は、「誰と来たか」という質問に対し、グラフを見るとおり、約8割が家族と回答しており、荒島の郷を訪れる人々は、家族と来る人が多いと分かります。



(発言内容)
 これは、「年齢」についての質問で、子どもの親に当たる、30～50代の年齢層の割合が半分以上を占めていたことに関連していると考えます。



(発言内容)

「どこから来たか」という質問には、県外、市外からの人がほとんどを占めており、アンケート結果から、観光帰りや帰省ついでに寄ったという理由が多くありました。

提案

- ①水上アスレチック
- ②足湯・温泉施設
- ③宿泊施設
- ④飲食系の充実

(発言内容)

この結果から、私たちは、「水上アスレチック」「足湯・温泉施設」「宿泊施設」「飲食系の充実」という四つの提案を考えました。



(発言内容)

「水上アスレチック」は、大野の自然を活かすため、大野市の土木企業と協賛してアスレチックを作る際の木材を提供してもらうことを考えました。



(発言内容)
アスレチックを作る場所は、赤い枠で示した、カヌー体験場と隣接した「じゃぶじゃぶ池」を利用することで、

さらに子供たちが
楽しめる場所に！！



(発言内容)
より多くの子どもたちが楽しめる場所になると考えています。

②足湯・温泉施設



(発言内容)
「足湯・温泉施設」は、

足湯があることで…

利点 景色を見ながら入れる
旅の疲れを癒すことができる
道の駅の名物になる

提案 水上アスレチック付近につくる



子供を見ながら入ることができる

(発言内容)

足湯があることで、景色を見ながら入れる、旅の疲れを癒すことができる、道の駅の名物となる、などの多くの利点が考えられます。また、提案として、水上アスレチック付近に足湯を作ること家族連れは、子どもたちの様子を見ながら足湯で疲れを癒すことができると考えています。



RVパーク

キャンピングカーで利用できる
オートキャンプ場

(発言内容)

温泉については、荒島の郷には、キャンピングカーで利用できるオートキャンプ場である「RVパーク」というものがあり、

RVパークで泊まる際

現在 シャワーのみ



温泉があることで・・・

- ・家族連れでも気軽に使える
- ・リラックスして体の疲れがとれる



(発言内容)

現在はRVパークで泊まる際は、施設内にあるシャワーしかなく、家族連れや旅の疲れをしっかりと取りたいという人には少し不便です。しかし、温泉があることで、家族連れでも気軽に入ることができ、リラックスして疲れを取ることができます。

③ 宿泊施設



(発言内容)
「宿泊施設」は、



(発言内容)

道の駅に隣接したホテルの成功事例として、世界的規模のホテルをチェーン展開しているブランド「マリオット・インターナショナル」が挙げられます。このブランドは、日本の4県で8つ展開しているホテルとして、「フェアフィールド・バイ・マリオット」というものがあり、絶景や特産物、郷土料理など、その土地ならではの旅スタイルが楽しめる人気を集めています。

ほとんどが日帰り、宿泊が少ない

宿泊施設ができることで、、、

滞在日数が増える！



他の観光地にも行ってもらえる

観光地の売上増加

(発言内容)

大野市を訪れる観光客は、ほとんどが日帰り、宿泊が少なく、荒島の郷に先ほどのような宿泊施設ができることで、大野市での滞在日数が増え、他の観光地にも行ってもらえたり、それによって、観光地の売上増加が見込めるのではないかと考えています。

④ 飲食系の充実



(発言内容)
「飲食系の充実」は、

アンケートの回答から

気軽に立ち寄れる飲食店

コンビニ

ここにしかない名物



(発言内容)

アンケートの回答には、気軽に立ち寄れる飲食店、コンビニ、ここにしかない名物があると良いという意見がありました。

気軽に立ち寄れる飲食店
コンビニ
ここにしかない名物



- ①屋台やワゴン販売の店を増やす
- ②コンビニ内に大野の特産品のコーナー を設ける
- ③コンテストを開いて、新たな名物を作る

(発言内容)

そこで私たちは、気軽に立ち寄れる飲食店については、他の道の駅などでも良く見かける、屋台やワゴン販売を増やしたいと考えています。コンビニについては、大野の特産品のコーナーを設け、施設内に入れなくても大野の特産品を買えたり、手軽に手にしてもらえるようにします。ここにしかない名物については、荒島の郷の名物を決めるコンテストを開いて、新しい名物を作ることを考えました。

課題

①費用



②場所



(発言内容)

この提案に対する課題は、新たな施設を作るために多額な費用が掛かることと、多くの場所が必要であるということです。

①費用

クラウドファンディング



大野高校のプール改修工事



ふるさと納税

(発言内容)

これらの課題を解決するための案として、費用の面ではクラウドファンディングを考えました。クラウドファンディングを身近なものだと、大野高校のプール改修工事や、ふるさと納税などが挙げられます。

ふるさと納税



返礼品

- ・米
- ・肉、海鮮類
- ・果物



- ・特産品
- ・地酒
- ・割引券



(発言内容)

クラウドファンディングを行う際は、ふるさと納税でいう返礼品を、特産品や地酒、荒島の郷で使える割引券などを返礼品とすることで参加してくれる人が増えるのではないかと考えています。

②場所

付近の田んぼを新たに
活用する



(発言内容)
場所の課題には、付近の田んぼを活用することを考えました。



(発言内容)

私たちは初め、赤色で記した、いこい広場を活用しようと考えていましたが、荒島の郷は2021年に国土交通省から県内で唯一、防災道の駅として認定され、いこい広場は防災用ヘリポートの役割を担っていることが分かりました。



(発言内容)
そこで、荒島の郷の周りを囲んでいる田んぼの一角を新たに温泉施設や宿泊施設として活用することを考えました。

観光客



荒島の郷



- ・水上アスレチック
- ・足湯、温泉
- ・宿泊施設
- ・飲食系の充実

荒島の郷が魅力的になることで…

また来たい！！

(発言内容)

観光客が荒島の郷を訪れた際に、私たちが提案したような施設があることで、荒島の郷が魅力的だと感じてもらうことができ、またここに来たいと思ってもらうことで、

荒島の郷



⇒

他の観光地



⇒



観光客の増加！！

(発言内容)
そこから、もう一度荒島の郷を訪れた際に、荒島の郷以外にも行ってみよう
と他の観光地を訪れてもらうことで、大野市の観光客が増加できるのでは
ないかと考えています。

大野の活性に繋がる！！



(発言内容)

つまり、荒島の郷が魅力的な施設になることで、大野市全体の活性化につながるというのが、私たちが考えるプロジェクトになります。
ご清聴ありがとうございました。